

事業所名 社会福祉法人 敬人会 児童発達支援事業所 きっずハート 帯山

支援プログラム

法人（事業所）理念		指定通所支援(児童発達支援)に係る事業の適切な運営を確保するために必要な人員及び運営に関する事項を定め、事業の円滑な運営管理を図るとともに、事業所の利用者及びその利用者に係る通所給付決定保護者等の意思及び人格を尊重し、適切な児童発達支援を提供する									
支援方針		利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な訓練を行う									
営業時間		8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・マッサージを行い、身体の力を緩める経験をするとともに、血流を高め自律神経へのアプローチをする ・心身共にリラックスしスタッフとの愛着関係を築く ・排泄、手洗い、身支度など生活に必要なスキルの支援をする									
	運動・感覚	・様々な感覚刺激を入れる運動を行い、身体作りを行う ・様々な運動遊具を使って粗大運動を経験し、ボディイメージを高める ・微細な動きに関しては、指先までしっかり使えるように、また目と協応して動かせるように様々な指先遊びを経験する									
	認知・行動	・絵カードやタイムタイマーなどで環境を整備し、活動の終わりを意識して気持ちの切り替えをする ・製作活動等により色・形・量などを意識する ・様々な感触遊びを通して、苦手な感覚や好きな経験をしながら様々な感覚に慣れていく									
	言語コミュニケーション	・活動を通して様々な言葉に触れ、日常生活の中で使えるよう支援していく ・製作活動を通してやり遂げる達成感を得る、また、困った時のヘルプの出し方を習得する ・自分の思いが伝わる経験が出来る支援を行う									
	人間関係社会性	・スタッフや友達と一緒に遊ぶ遊びや活動を通して他者との関わりの経験を積む ・受容・共感を通して自己肯定感を育む ・ルールのある遊びを通して、決まりを守る楽しさや大切さに気付く									
家族支援		・半年に一度、利用者及びその保護者と直接面談を行い、支援計画の見直しを行う・必要に応じて、療育の観察や家庭訪問、電話での相談支援を行うなど家庭との連携を密に図る						移行支援		・就学先などへの情報共有(就学支援シート作成) ・必要に応じて学校見学に同行する ・移行支援会議への参加	
地域支援・地域連携		・利用児が通園しているこども園や他事業所など関係機関との連携を図り、支援方法や環境整備等に関する情報共有を行う						職員の質の向上		・毎週火曜日～木曜日 事業所内研修実施(身体アプローチ、原始反射、愛着障害等) ・年数回各種マニュアル研修実施 ・事業所外研修参加	
主な行事等		・年2回保護者会開催(保護者座談会・親子レクリエーション等) ・季節に合わせた活動を活動内で実施(節分、ひなまつり、クリスマス、クッキングなど)									